



No.1 2023.4.11

【一年間保存版】

先日、僕の信頼のおける友人に、ぴっぴの良いところに関して質問してみました。

『ぴっぴは、園舎を持たない野外保育で、軽井沢の豊かな自然の中で、2歳児が自然のリズムの中でゆったりと過ごし、自分自身や仲間と関わり合いながら、信頼感を育てる場所として運営されています。子どもたちは、森の中で様々な体験を通して出会い、関わり合い、育み合う中で、自分自身や仲間への信頼感を育てています。また、大人も子どもたちを支える役割があると考えており、親子で参加することもできます。ぴっぴは、園舎を持たない野外保育ではありませんが、自然遊びや自由遊びを体験することが目的ではなく、心のつながりを築く場として自然環境が適していると考えられています。』

また、ぴっぴのメリットやデメリットに関しても聞いてみました。

『自然型保育のメリットとしては、自然の中で遊ぶことで、子どもたちの感性や創造力が育まれることや、自己肯定感や自己効力感が高まること、コミュニケーション能力や社会性が育まれることが挙げられます。一方、デメリットとしては、保護者の関与の場が多いことや、天候によっては活動が制限されることがあることが挙げられます。』

さて、もうお気づきかと思いますが、僕の友人と言ったのはAIです。今回は Bing AI を使って質問をしてみました。ちょっと違和感ある部分はありますが、当事者の僕たちとしても、「まあね、うんうん」というレベルの答えになっているかなって思っています。

一方で、先日とあるセミナーで、「AI時代に必要な人間力の強化」という題材のお話を聞きました。そこで説明がなされていた10項目をそのまま転載します。

Curiosity (好奇心)

Creativity (創造力)

Communication (コミュニケーション)

Collaboration (コラボレーション)

Critical Thinking (クリティカル思考)

Cognitive (認知力)

Confidence (自信)

Conviction (信念)

Compassion (共感力)

Collectivity (共同体、連帯感)

(実際は) ぴっぴの事を何も知らない AI が、それなりの答えを人間の言葉で返してくれる世界がやってきました。これから世の中に普及してくる Google や Meta が開発している AI は、桁違いの対応力を持っているとも言われています。僕が最近通い始めた大学院で、「Chapt GPT の利用は原則禁止」と初日に言われました。いろんな意味で Wow と思いましたが、AI 初年度としては仕方ないのかなと。ただ、これからの世の中では記憶する・情報整理する・アウトプットするという能力は、重要度がめちゃくちゃ下がると思うんですよね。例えるなら、電卓で計算した結果をエクセルに手入力しなさいって言われている位の感じで。(これ、僕が新入社員の時に先輩に指示された実話です)

今の未就学児や小学生は、きっと「AI ネイティブ世代」って呼ばれると思います。Steve Jobs が iPhone を発売して、世の中を変えました。それから 15 年が経ち、デジタルネイティブ世代という言葉はすでに過去のものになりつつあります。今後は AI ネイティブ世代が、どのように育ち・学び・生活していくのかを考えなければなりません、親としても保育者・教育者としても。まだ到底答えのない問いに対して、今後世界が慌てて取り組んでいくのかなと思っています。

しかしながら、PC も、スマホも、AI も、所詮はツールです。どのようなツールを使いこなして、目的を達成する為の手段を実行していくかに過ぎないと思っています。であれば、やっぱり重要なのはその人が何者なのか、その人のロングタームの目的(≒夢)がなんなのかが重要なんだと思っています。上述の 10 項目はそんな事を端的に表してくれているなと思っています。

どんぐりのみなさん、「AI 時代に必要な人間力」も育むことができる幼稚園「ぴっぴ」によるこそいらっしゃいました。まつぼっくり、くり、おおくりのみなさんも、今年も一年精一杯遊んで、ますますぴっぴの子どもらしく育っていつてもらいたいと思います。

そして子どものみならず、保護者のみなさまも、できる限りぴっぴに関わっていただき、ぴっぴで時間を過ごしていただき、自らの成長の機会を掴んでいただけることを願っています。親として(社会人としても)今後の変化に対応していくための何か、ぴっぴには必ずあると思っています。

：山崎 元

追伸：個人的なご報告をさせていただきます。昨年夏で勤めていた会社を辞め、今年の 4 月から大学院生になりました。京都大学経営管理大学院の観光経営科学コースで、観光ビジネスを学びます。あわよくば、幼児教育関連の授業も取れたらなと思いつつ、約 30 年ぶりにシラバスと睨めっこしています。ぴっぴでの活動、軽井沢での諸活動は変わらずやっていくつもりですので、今年度も引き続きよろしくお願ひします



# 森と絵本と巡る季節

# 4月



子どもたちのにぎやかな声とともに、びっぴの森にも春がやってきました。今年1年このページを担当させていただくごんぐり、阿部琴江の母、菜々良です。森や自然の中にあることが大好きで、普段は森の案内や野原で野草のworkshopなどをしてます。そしてもう一つ大好きなものが絵本です。ということで、今年度は大好きな森と絵本をテーマに綴りたいと思います。4月、春一番の森で読みたい絵本は『根っこの子どもたち 目とまます (福音館)』です。冬の間、地面の下で春の準備をしている花や草の精の姿を通して、春のはじまりや、喜び、そして季節が巡っていく様をかわいらしく描いた本です。私はこの妖精たちの姿がびっぴの子どもたちと重なり合っています…。まだまだ春浅い森の中も、この絵本とみればそこかしこで、根っこの子どもたちが動きだしているのを実感できるのではないのでしょうか。



もう少し、学術的に根っこの子どもたちのことを知りたい方は福音館書店、たぐさんのおしきシリーズの『春の妖精たち スプリング・エフェメラル』もおおすすめです。地面の中で草花たちがどのように春を迎えているのか写実的に描かれています。春の森歩きのお供に!



そしてもう1冊大好きな絵本が『もりのてがみ (福音館)』です。冬の間女の子が「もりにすみれがさいたらもみのきのしごきまっています。」とリスやとかげ、うさぎやもみのきにそれぞれ手紙を書きます。その文面と絵のかわいいこと! その手紙をモミの木にたくし、やがてあるあたにかい日の朝…。春の喜びが、春のあたにかい風にも包まれるような気持ちになります。びっぴの森でも優しい紫のタチツボスミレがたくさん咲きます。みなさん大好きな絵本はありますか? よかったら森と一緒に読みましょう!





# たははだより

花ニ♡ニ芽ニ花ニ♪ニ🍀ニ🏠ニ🐱ニ🌲ニ🌻ニ🌾  
田火田だより

春、てすごいなあ〜と毎年思います。あたり一面  
ほぼ茶色しか色のない世界だったのに...  
暖かくなつて、花が咲き始めて、色彩豊かな世界に  
変わっていく。寒い冬があるからこんなに春を  
喜んでしまうのもあるなあ、と思うと冬もすごいなあ〜と  
毎年思います。そして、その寒い冬が訪れるころには  
春を迎える準備をすでに終えている冬芽たち...すごい!  
暑い夏があつて、実りの秋を迎え...夏も、秋も、四季が  
ある、て四季を感じられる、てすごい!と感<sup>い</sup>ながら、  
今年の実りをいただく準備を、ひの、ひの田火田でも  
少しずつ始めています。

ひの、ひの森で、田んぼで、火田で、子どもたちや保護者の  
みなさんと子どもの育ち、稲の育ち、野菜の育ち、やあれや  
これを感じながら過ごせたら...とワクワクしています。

力を貸していただききたいときがたくさんあります。  
その都度おたよりや黒板でお知らせしますので、  
むりのないときがありましたら、ぜひ一緒に  
農作業タイムしましょう♪

どうぞ よろしくお願<sup>い</sup>いたします。 はるこ